

問題と回答例

Q. あなたが今、「やってみたいこと」や「やっておくべきだと思うこと」について、自分の考えを書きなさい。

A1 上位 回答例



I want is read book. Interesting.
And, writing book is future.

A1 上位の特徴

簡単なアイデアであればシンプルな単文で表現できます。



A2 下位 回答例



I want to read many books. Because books are interesting. I want to read liking books everyday. Sunday is read the books. I want to writing books. Because I have to read many books. But it's difficult.

A2 下位の特徴

becauseやsoなどの簡単な接続詞を使い簡単なアイデアを表現できます。

※回答例には、意図的に誤りを含めていることがあります。

A1 上位 → A2 下位を目指すための指導案

目標

単文から、接続詞で繋げた2文でアイデアを表現できる



目安時間

15分

準備物 ピクチャーカード

簡単な英語の単語とセンテンスで表現できる動作や顔の表現を選ぶ。

ステップ

1

(全体)

- 3つのピクチャーカード(顔の表現で感情を表したもの)を黒板に貼る。
- 3つの中から1つカードを選ぶ。“because _____”を板書し、becauseの後に続くセンテンスを板書する(例:I am happy because I like reading books.)。生徒にもカードを選ばせてbecauseを使ったセンテンスを各自ノートに書かせる。
- 数名の生徒に黒板で共有してもらう。

ステップ

2

(全体)

- 新しい3つのピクチャーカードを黒板に貼る。
- 生徒に各自カードを選ばせ、becauseを使ったセンテンスをノートに書かせる。

ステップ

3

(ペア)

- 生徒をペアに分け、お互いのセンテンスを共有させる。
- 一番面白いと思うセンテンスを各ペアで1つ選ばせる。

ステップ

4

(全体)

- 各ペアで選んだセンテンスを板書させる。
- 板書されたセンテンスを見て一番面白いと思ったものを生徒の多数決で決める。

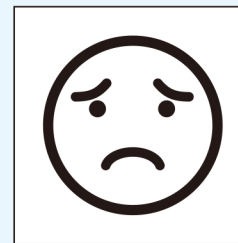


becauseだけではなく、soを代わりに使って同じ活動を行うことも可能。soを使う場合はピクチャーカードを感情表現の代わりに動作を表したものととして(例:cooking, playing sports, reading a book, talking with friends)、I like～を使ったセンテンスを作る(例 I like cooking, so I joined a cooking class.)。

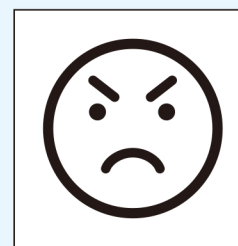
ピクチャーカード例



喜び



悲しみ



怒り



POINT

教師の関わり方:英語での表現に慣れることが目標であるため、生徒の文法の誤りを都度訂正する必要はありません。他の生徒の文章を見ることで、自分の誤りに気がつき修正するという、自発的な修正を目指してください。もし誤りを修正する場合は、全ての誤りを修正するのではなく、主語、動詞、または意味を阻害する単語使用などの大きな誤りの修正のみ行ってください。細かい修正をすると重要な誤りへの気づきを阻むことになります。